

第1学年3組 保健体育科学習指導案

指導者 教諭 村上 貴孝

1 時間・場所 令和元年6月17日(月) 第5校時(体育館)

2 単元名 球技「ネット型(バレーボール)」

3 単元について

- (1) バレーボールは、コート上でネットを挟んで相対し、身体を操作してボールを空いている場所に返球し、一定の得点に早く到達することを競い合うゲームである。第1学年及び第2学年の学習では、ラリーを続けることを重視し、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにすることをねらいとしている。またバレーボールは、老若男女問わず誰もが気軽に楽しめるレクリエーションとして考案されたスポーツであるという成り立ちから、**性差問わず誰もが取り組みやすい競技特性をもっている**。そのため、**自他の課題の合理的解決に向けて個人や集団で練習方法を工夫し、一人ひとりの違いに応じたプレイを認めながら、積極的に取り組むことができる教材である**。
- (2) 本授業の生徒は、男子12名、女子16名の計28名である。バレーボールに関してアンケート調査をしたところ、「バレーボールは得意ですか」の質問に対し、否定的に答えた生徒が約57%であった。また、「バレーボールの内容で難しいと思う内容は何ですか(複数回答可)」の質問に対し、パスと答えた生徒が約40%、ポジショニングと答えた生徒が約36%、サービスと答えた生徒が約32%であった。以上から、ラリーの継続に必要なパスやポジショニングなどの基本的技能の定着が課題であることがわかった。
- (3) 本授業を指導するに当たって、以下の点に留意したい。
 - ・ 個人的技能の定着からチームでのラリーの継続へとつなげるために、スモールステップの課題を課した「スキルアップカード」を用いる。
 - ・ 技能のポイントや個人・チームの実技を視覚化するために、ICT機器を利用し、メタ認知や技能理解を促す。
 - ・ **男女の身体的ちがいを理解し、状況に合った課題を解決しようとする姿勢や、相手やなかまを尊重し、友情や連帯感を高めるために、男女混合チームを組み、練習やゲームに取り組む。**
 - ・ 振り返りの際、自分自身の取り組みと共にメンバーの取り組みを評価することで自分やチームの課題意識をもち、次時の見通しをもてるようにする。

4 単元の目標

- (1) バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解すると共に、ラリーが続くようなボールの操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己やなかまの考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 健康・安全に気を配りながら、バレーボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすることや、話し合いに参加しようとする事、一人ひとりの違いに応じたプレイを認めようとする事、なかまの学習を援助しようとする事などができる。

5 学習指導計画(総時間数8時間)

- (1) オリエンテーション …1時間
- (2) パス・サービス …4時間(本時4/4時間)
- (3) ミニゲーム …2時間
- (4) 実技テスト …1時間

6 本時の学習指導

(1) 目標

パスに関する個人やチームの課題を見つけ、解決する活動を通して、ラリーを継続させるためのボールの操作や定位置に戻る動きができる。

(2) 準備物

バレーボール（レクリエーション用）14個、ソフトバレーボール支柱3セット、バドミントンネット3つ、タブレットPC8台（内教師用1台）、ゲーム用タイマー1台

(3) 学習指導過程

学習活動と内容	生徒の意識の流れ	指導上の留意点
<p>1 準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツリズムトレーニング <p>2 本時の課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ しっかりと跳べるように動こう。 ・ ひざのばねが使えるように柔らかく動こう。 ・ 今日はチームでうまくパスがまわせるといいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツリズムトレーニングを用いて、巧緻性や敏捷性を高めたい。 ・ 全員で1つのリズムをとることで、連帯感を高めたい。
<p>ラリーを続けるために、チームでパスをつなごう。</p>		
<p>3 チームで練習する。</p> <p>(1) スキルアップカードのパスラリーにチャレンジする。</p> <p>(2) ポイントや撮影した映像を確認しながら話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定したパスをするためには、ボールの落下点に入らないといけない。 ・ 2人の間に落ちたときにどっちがいけばいいか迷ってしまう。 ・ △△さんのアドバイスを意識したら、ボールをうまく捉えられるようになった。 ・ 自分はひざがうまく使えていないからボールがうまく打てていないな。 	<p>(ユ) <u>スモールステップで技能を身につけられるようにするために、スキルアップカードを活用する。</u></p> <p>(ユ) <u>技能のポイントやプレーを視覚的に理解するために、タブレットPCを用いる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技能下位生徒に対しては、落下点に入ることを重点的に指導する。
<p>4 ゲームをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1ゲーム5分 ・ フォアヒット、フットフォールトなし ・ フローターサービス、スパイク、ブロック禁止 ・ サービスは1回交代でローテーションなし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポジションを変えるとどうなるかな。 ・ アンダーが上手な人を後ろにした方がいい。 ・ パスに行くときは、はっきりとサインを出していこう。 ・ パスをつなぐ時は、円陣のようにお互い向かい合った方がまわしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乱れたパスのリカバリーをしたり、メンバーのフォローをしたりする場面があれば、称賛する。 ・ 技能下位生徒に対しては、周りの声かけを促したり、ボールの軌道がはっきりと見えるポジションを示したりする。
<p>5 振り返りをする。</p> <p>(1) メンバーの取り組みをそれぞれ評価する。</p> <p>(2) 自身の取り組みを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ □□さんは、ボールの落下点に入ることが課題だったが、自分のアドバイスでかなり上達した。 ・ それぞれのパスは上達したが、みんなが譲り合ってつながらない。次の時間からは声かけを意識したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンバーを評価することで、成果や課題、メンバーの良さなどを気づけるようにする。 ・ チームの成果と課題を踏まえて、自身の課題と次時の見通しをもたせる。

(4) 評価

- ・ ラリーを継続させるためのボールの操作や定位置に戻る動きができる。
- ・ 個人やチームの課題を見つけ、工夫して練習に取り組むことができる。
- ・ フェアなプレイを大切にし、バレーボールに積極的に取り組むことができる。